

図画工作 4年「学校の授業における学習活動の重点化」年間指導計画参考資料

資料のご活用にあたって

- ・本資料の配当時間数は、開隆堂出版株式会社ホームページにて公開しています「年間指導計画(案)」で示している配当時間のうちの最も長い時間数を設定しております。指導計画の作成に当たっては、各学校での実態に合わせて時間数をご検討ください。
- ・当該学年で取り扱う内容について、指導順序を入れ替えてもなお実施が困難となった場合、次年度において取り上げたり、類似した題材と組み合わせて取り上げたりするなどの配慮が必要となります。
- ・上級学年に指導内容を送った場合には教員間でしっかりと引継ぎをするなどの配慮が必要となります。

① 題材名	② ページ 時間数		③ 学習内容	④ 学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動	⑤ ③の教材・学習活動の概要、配当時数	⑥ 感染症対策の観点から指導順序を変更することが考えられる教材・学習活動	⑦ ⑤の教材・学習活動の概要、配当時数	⑧ ③の教材に係る配当時数を除いた、学校の授業が必要な時数
絵の具で遊んで「自分いろがみ」	8-10	6	筆を使った技法以外の絵の具遊びから(モダンテクニック)、模様づくりや表現を楽しみながら、表したいことを思いつき、絵に表す。さらに発展として、簡単な絵本をつくってもよい。	○水彩絵の具を使ったいろいろな表し方があることについて知る。 ○つくった「自分いろがみ」をもとに、表したいことについて考える。	・事前に教科書の掲載作品例を見て、水彩絵の具でいろいろな表し方があることについて知り、興味をもつことは学校の授業以外の場においても実施可能。(0.5) ・絵の具遊びの活動でできた「自分いろがみ」を見て、どのように画面を構成していこうかについてある程度考えてみることは学校の授業以外の場においても実施可能。(0.5)	※モダンテクニックの表し方などを示範する際は、モニターを活用するなど、児童を集合させないようにする。	—	5
見つけたよ、この色 すてきだね、その色	11	2	絵の具を混ぜてつくる色(混色)を使って、小さな画用紙に花や木・鳥や魚などのテーマで、色の仲間づくりをしながらかく。	○水彩絵の具の色のつくり方について知る。	・事前に教科書の掲載作品例を見て、水彩絵の具の色のつくり方などについて確認したり、どのように表していこうかある程度考えてみたりすることは学校の授業以外の場においても実施可能。(0.3)	—	—	1.7
リズムにのって	12・13	2	動物たちが踊り出したら楽しいだろうと想像したことを、粘土の塊を大きくひねったり、つまみ出したりしながら立体に表す。	—	—	※個人の粘土を用いて活動を行えるようにする。	—	2
トントンつないで	14・15	6	のこぎりで角材をいろいろな形に切り、切った木片と薄い板などを短い釘でつなぐことで生まれる動きから想像を広げ、動く面白ものをつくる。	○教科書に掲載されている参考作品例やのこぎりの使い方を見て、のこぎりの使い方について確認する。	・事前に教科書の掲載作品例や45ページ「道具箱」を見て、のこぎりの使い方を確認し、活動に興味をもつことは学校の授業以外の場においても実施可能。(0.5)	—	—	5.5
木々を見つめて	16・17	6	木々の形や色、触り心地などの特徴を感じて気に入った木を見つけ、色づくりや筆使いなどを工夫しながら、表し方を試したり、見つけたりしてかく。	○身近にある木々を見たり、触れたりして、木々の形や色、触り心地などの特徴を感じる。	・事前に教科書の掲載作品例を見て、身近にある木々を見たり、触れたりして感じたことを書きとめておくことは学校の授業以外の場においても実施可能。(0.5)	—	—	5.5
みんなで、どんどん むすんで、つないで	20	2	身近な場所で木の枝をひもでつなぐことから発想し、つなぎ方やつないだ形の面白さを確かめながら活動する。	—	—	※共同して作りだす活動を想定しているため、指導時期の検討が必要。	—	2
カードで味わう、形・色	21	2	形や色のカードをつくり、それらを元に、互いの感じ方の違いを楽しんだり、味わったりする。	—	—	○それぞれのカードを見て感じたことを書いた「言葉カード」をつくり、「言葉カード」と「模様カード」の組み合わせを探る遊びを友だちと楽しむ。	1	2
パックパック	22・23	6	輪切りにした紙パックで、簡単なしくみを使った動くおもちゃを工夫する。	○紙パックで動くおもちゃをつくる活動について知る。 ○つくったしくみをもとに、どのように表していきたいかについて考える。	・事前に教科書の掲載作品例を見て、使えそうな身のまわりの材料を探してみるなどすることは学校の授業以外の場においても実施可能。(0.5) ・授業でつくったしくみをもとに、どのように表していこうかある程度考えてみることは学校の授業以外の場においても実施可能。(1)	—	—	4.5

① 題材名	② ページ 時間数		③ 学習内容	④ 学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動	⑤ ③の教材・学習活動の概要、配当時間	⑥ 感染症対策の観点から指導順序を変更することが考えられる教材・学習活動	⑦ ⑤の教材・学習活動の概要、配当時間	⑧ ③の教材に係る配当時間を除いた、学校の授業が必要な時間
へんてこ山の物語	24・25	6	「へんてこ山」という言葉から想像したり考えたりして、その山をかきながらお話を発想して絵に表す。	○「へんてこ山」という言葉から思いついたお話について考える。 ○水彩絵の具の使い方を確認したり、表し方について考えたりする。	・事前に教科書の掲載作品例を見て、「へんてこ山」という言葉から思いついたお話をある程度書きとめておくことは学校の授業以外の場においても実施可能。(0.5) ・事前に教科書の掲載作品例を見て、水彩絵の具の使い方を確認したり、思いついたお話をどのように表していこうかある程度考えてみることは学校の授業以外の場においても実施可能。(0.5)	—	—	5
つくって、つかって、たのしんで	26・27	6	生活に役立つ入れ物や箱を、板や造形紙などの材料を使って、手順や方法を確認したりしながらつくる。	○教科書に掲載されている参考作品例などを見て、のこぎりの使い方を確認したり紙の組み方を知ったりする。	・事前に教科書の掲載作品例や45ページ「道具箱」を見て、のこぎりの使い方を確認したり、紙の組み方を知ったりして、表したいことをある程度考えてみることは学校の授業以外の場においても実施可能。(0.5)	—	—	5.5
いい場所見つけて、囲んでみよう	28	2	友だちと協力して、さまざまな材料で囲むことで身近な場所を変身させる活動を行う。	○友だちと協力して、さまざまな材料で囲むことで身近な場所を変身させる活動について知る。	・事前に教科書の掲載作品例を見て、どの場所を囲んでいこうかなどについてある程度考えておくことは学校の授業以外の場においても実施可能。(0.2)	※共同してつくりだす活動を想定しているため、指導時期の検討が必要。	—	1.8
ハッピーカード	30・31	6	自分の経験の中から、感動したこと、発見したこと、想像をふくらませて楽しんだことなど、伝えたいことを絵はがきやカードにして表す。	○教科書に掲載されている参考作品例を見て、よさや美しさ、面白さについて考える。 ○飛び出すしくみをもとに、どのように表していくかについて考える。	・事前に教科書の掲載作品例を見て、感動したこと、発見したことなど、伝えたいことを思い浮かべ、ある程度書きとめておくことは学校の授業以外の場においても実施可能。(0.5) ・つくった飛び出すしくみを試して、どのように表していくかある程度考えてみることは学校の授業以外の場においても実施可能。(0.5)	—	—	5
形と色でショートチャレンジ 友だち、たくさん集まって	32・33	2	「自分マーク」など、もとのものの形を決め、それらの並べ方や組み合わせ方を工夫してかく。	○「自分マーク」などの並べ方や組み合わせ方を工夫してかく活動について知る。	・事前に教科書の掲載作品例を見て、何をどのように並べたり組み合わせたりしようかを大まかに考えてみることは学校の授業以外の場においても実施可能。(0.5)	—	—	1.5
願いの種から	34・35	6	身近な願いにかかわる形の種をつくり、そこから育つ茎や根、実や花を想像を広げ、材料を工夫してつくる。	○表したい身近な願いや夢について考える。	・事前に教科書の掲載作品例を見て、表したい夢や願いを思い浮かべ、ある程度書きとめておくことは学校の授業以外の場においても実施可能。(0.5)	—	—	5.5
ほると出てくる不思議な花	36・37	6	インクの量や色の重ね方を工夫しながら刷り方や彫り方を試したり、見つけたりして、表したいことを思いつく。	○教科書に掲載されている参考作品例や彫刻刀の使い方を見て、彫刻刀の使い方について確認する。	・事前に教科書の掲載作品例を見て、彫刻刀の使い方を確認し、彫りや刷りを楽しむ活動について興味をもつことは学校の授業以外の場においても実施可能。(0.2)	※彫刻刀の使い方などを示範する際は、モニターを活用するなど、児童を集合させないようにする。	—	5.8
ゆるいろうらんぷ	38・39	6	色セロハンや油性マーカーなどの光を通す材料で、自分の気に入った模様をペットボトルなどの透明容器に施してランプをつくり、それらの並べ方や展示の方法を工夫する。	○教科書に掲載されている参考作品例を見て、よさや美しさ、面白さについて考える。	・事前に教科書の掲載作品例を見て、使えそうな身のまわりの材料を探してみるなどすることは学校の授業以外の場においても実施可能。(0.5)	○作品をみんなで展示する。	1	5.5